

鹿児島県

長期入院精神障害者の 地域移行推進に向けて

鹿児島県では、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業」を活用し、精神障害者をピアサポーターとして養成し、一般相談支援事業所で地域移行支援スタッフとして活用しながら、1年以上の長期入院精神障害者の地域移行支援を実施する。

1 県又は政令市の基礎情報

鹿児島県



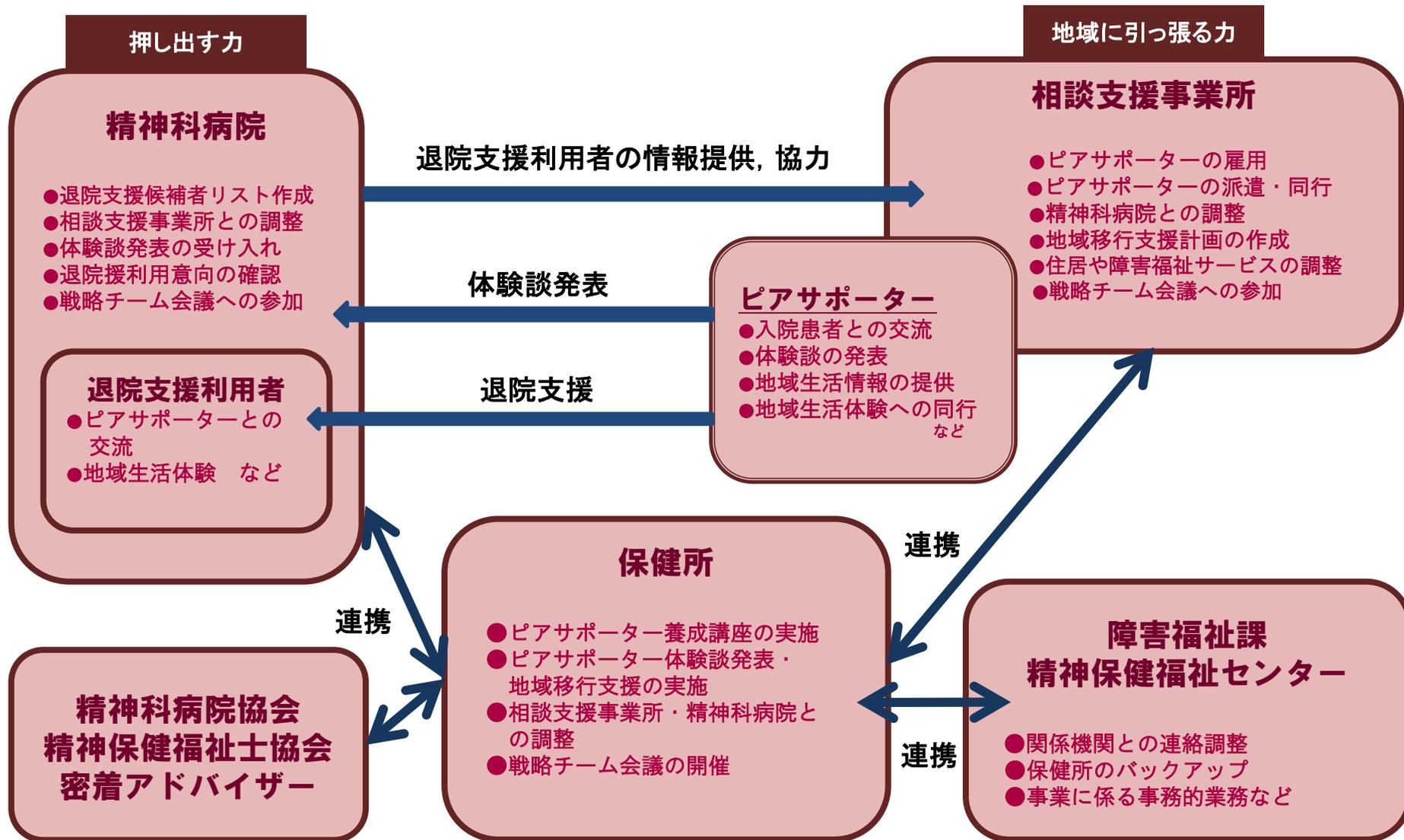
取組内容

- ・「精神障害者地域移行・地域定着推進研修会」の実施
- ・保健所単位で「精神障害者地域移行・地域定着推進会議」を開催し、地域課題や課題解決に向けた取組を検討
- ・ピアサポーター養成講座の開催
- ・ピアサポーターを活用した長期入院精神障害者の地域移行支援（精神科病院での体験発表、退院希望者への支援等）
- ・保健・医療・福祉関係者による協議の場（戦略チーム会議）の開催

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（H31年4月時点）	7	か所
市町村数（H31年4月時点）	43	市町村
人口（H31年4月時点）	1,604,247	人
精神科病院の数（H31年4月時点）	51	病院
精神科病床数（H30年6月時点）	9,490	床
入院精神障害者数 （H30年6月時点）	合計	8,433 人
	3か月未満（%：構成割合）	1,415 人 16.8 %
	3か月以上1年未満 （%：構成割合）	1,458 人 17.3 %
	1年以上（%：構成割合）	5,560 人 65.9 %
	うち65歳未満	1,934 人
	うち65歳以上	3,626 人
退院率（H28年度）	入院後3か月時点	58.9 %
	入院後6か月時点	77.5 %
	入院後1年時点	87.1 %
相談支援事業所数 （H31年4月時点）	基幹相談支援センター数	10 か所
	一般相談支援事業所数	122 か所
	特定相談支援事業所数	198 か所
保健所数（H31年4月時点）	14	か所
(自立支援)協議会の開催頻度（H30年度）	(自立支援)協議会の開催頻度	2 回/年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	無
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（H31年1月時点）	都道府県	有 1 か所
	障害保健福祉圏域	有 5 / 7 か所/障害圏域数
	市町村	有 26 / 43 か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）



3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

1 研修会の実施

県の主催で、病院・相談支援事業所・行政等を対象にした研修会を実施

- (1) 平成27年度：地域移行支援に係るシンポジウム，地区ごとのグループ討議
- (2) 平成28年度：地域移行支援に係る講話，ピアサポーターによる活動報告
- (3) 平成29年度：ピアサポーターを活用した地域移行推進事業の関係者による活動報告，地区ごとのグループ討議
- (4) 平成30年度：ピアサポーターを活用した地域移行推進事業の関係者による活動報告

2 ピアサポーターの養成・活用

精神障害者ピアサポーターを養成し，指定一般相談支援事業所で活用することにより，長期入院精神障害者の地域移行を推進

- (1) ピアサポーターの養成
 - 平成29年度（始良・伊佐圏域）：20名（うち，6名を相談支援事業所で活用）
 - 平成30年度（鹿児島圏域）：56名（うち，7名を相談支援事業所で活用）
- (2) ピアサポーターの活用
 - 平成29年度（始良・伊佐圏域）：精神科病院等での体験談発表 22回
 - 平成30年度（鹿児島圏域）：精神科病院での体験談発表 12回
- (3) 地域移行支援の推進
 - 平成29年度（始良・伊佐圏域）：地域移行支援利用者数 9名（うち，退院 3名）
 - 平成30年度（始良・伊佐，鹿児島圏域）地域移行支援利用者数 29名（うち，退院 15名）

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

＜平成30年度までの成果・効果＞

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (H30年度当初)	実績値 (H30年度末)	具体的な成果・効果
① 精神病床における1年以上長期入院患者数(人)	5,411	5,560	県内の入院精神障害者の約40%が集中する鹿児島圏域において、地域移行支援の活用が図られた。
② 平成32年度末までに、全ての市町村ごとに保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置(力所)	32	26	精神科病院, 指定一般相談支援事業所, 市町村, ピアサポーター等による戦略チーム会議を毎月開催し, 圏域の地域移行の推進について連携が図られた。

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- 1 圏域によって違いはあるが、保健所が開催している地域移行・地域定着推進会議と市町村自立支援協議会の精神部会、地域移行部会との連携や協同開催等に取り組んでいる。
- 2 県精神保健福祉士協会が地域移行の研修やピアサポーターのフォローアップに積極的に取り組む等協力的である。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
地域移行支援に積極的に取り組む相談支援事業所が少ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアサポーター養成講座の実施 ・ピアサポーターを活用した長期入院精神障害者の地域移行支援 	行政	精神科病院等関係機関との調整 等
		精神科病院	ピアサポーターの受入, 退院希望者リストの情報提供, 協議の場への参加 等
		相談支援事業所	ピアサポーターの派遣・同行, 住居や障害福祉サービスの調整, 協議の場への参加 等
精神科病院, 相談支援事業所, 保健所の三者による地域移行へ向けた連携が十分といえない	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉関係者による協議の場の開催 	行政	関係機関との調整, 地域課題の整理・分析 等
		精神科病院	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等
		相談支援事業所	地域移行支援の個別事案の分析, 検討 等

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (令和元年度末)	見込んでいる成果・効果
①精神病床における1年以上長期入院患者数	5,411	5,214	
②地域移行支援(個別給付)の利用者数	29	50	県内5圏域での地域移行支援の普及
③市町村ごとの協議の場の設置	26	32	地域定着にかかる関係者による連携

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の取組スケジュール

時期(月)	実施する項目	実施する内容
R1年5月	ピアサポーター養成講座 事前打合せ会	3圏域においてピアサポーター養成講座を実施するための、関係者(保健所, 密着AD, 精神保健福祉センター, 障害福祉課)による事前打合せ
R1年6月	3圏域合同戦略チーム会議	3圏域(+鹿児島市)の関係者(保健所, 市町村, 協力病院, 協力事業所, 密着AD, 精神保健福祉センター, 障害福祉課)により, 事業における目標値, 実施方法等を協議
R1年7~8月	ピアサポーター養成講座	3圏域の保健所により実施
R1年9月~	体験談発表 地域移行支援	随時, 協力病院において, ピアサポーターの体験談発表・地域移行支援を実施
R2年1~2月	地域移行・地域定着推進 研修会	県内の関係者に対する研修会の実施
R2年1~2月	3圏域合同戦略チーム会議	3圏域(+鹿児島市)の関係者により, 事業の成果・課題の報告, 来年度以降の方針等を協議